

大学からJABEEへの期待

横浜国立大学 環境情報研究院 教授
日本機械学会 第97期会長
森下 信

大学教育に対する不安 その1

建前：大学は教育と研究を行う場

**実体：研究は定量的に評価されるが、
教育は適切に評価されているのか？**

大学は人材育成をする場

**一方で、教育を隠れ蓑に研究しない教員が増加？
→ 我が国の科学技術論文の総数の減少**

大学教育に対する不安 その2

教育する技術は適切に評価されているか？
Faculty Developmentは機能しているか？
授業内容のチェックは行われているか？

大学の講義：

- 多くの大学では体系化されている！
- 内容は誰がチェックしているか？

大学院の講義：

- 体系化されているか？
- 内容は誰がチェックしているか？

大学教育に対する不安 その3

何をもち、**大学の卒業資格**を認めるか？

修得単位数が揃っていればよいのか？

社会で活躍できる基礎知識の修得を保証できるか？

何をもち、**大学院の修了資格**を認めるか？

修得単位数が揃っていればよいのか？

指導教員群の個人的判断だけでよいのか？

修士論文の要件とは何か？

大学設置基準

学校教育法に基づいて大学における組織、教員の資格、施設、学生定員、教育課程などを定めた基準

(教授の資格)

第14条 教授となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

1. **博士の学位** (外国において授与されたこれに相当する学位を含む。) を有し、研究上の業績を有する者
2. **研究上の業績** が前号の者に準ずると認められる者
3. 学位規則 (昭和二十八年文部省令第九号) 第五条の二 に規定する**専門職学位** (外国において授与されたこれに相当する学位を含む。) を有し、当該専門職学位の**専攻分野に関する実務上の業績** を有する者
4. 大学において教授、准教授又は専任の講師の**経歴** (外国におけるこれらに相当する教員としての経歴 を含む。) のある者
5. 芸術、体育等については、**特殊な技能** に秀でてしていると認められる者
6. 専攻分野について、特に**優れた知識及び経験** を有すると認められる者

大学設置基準 続き

(教育課程の編成方針)

第19条 大学は、当該大学、学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

大学設置基準 続き

(授業の方法)

第25条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 大学は、第一項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第一項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(成績評価基準等の明示等)

第25条の2 大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第25条の3 大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

**教育の体系化と内容の充実を目指して
国際標準に照らし合わせて評価する**

JABEE審査制度

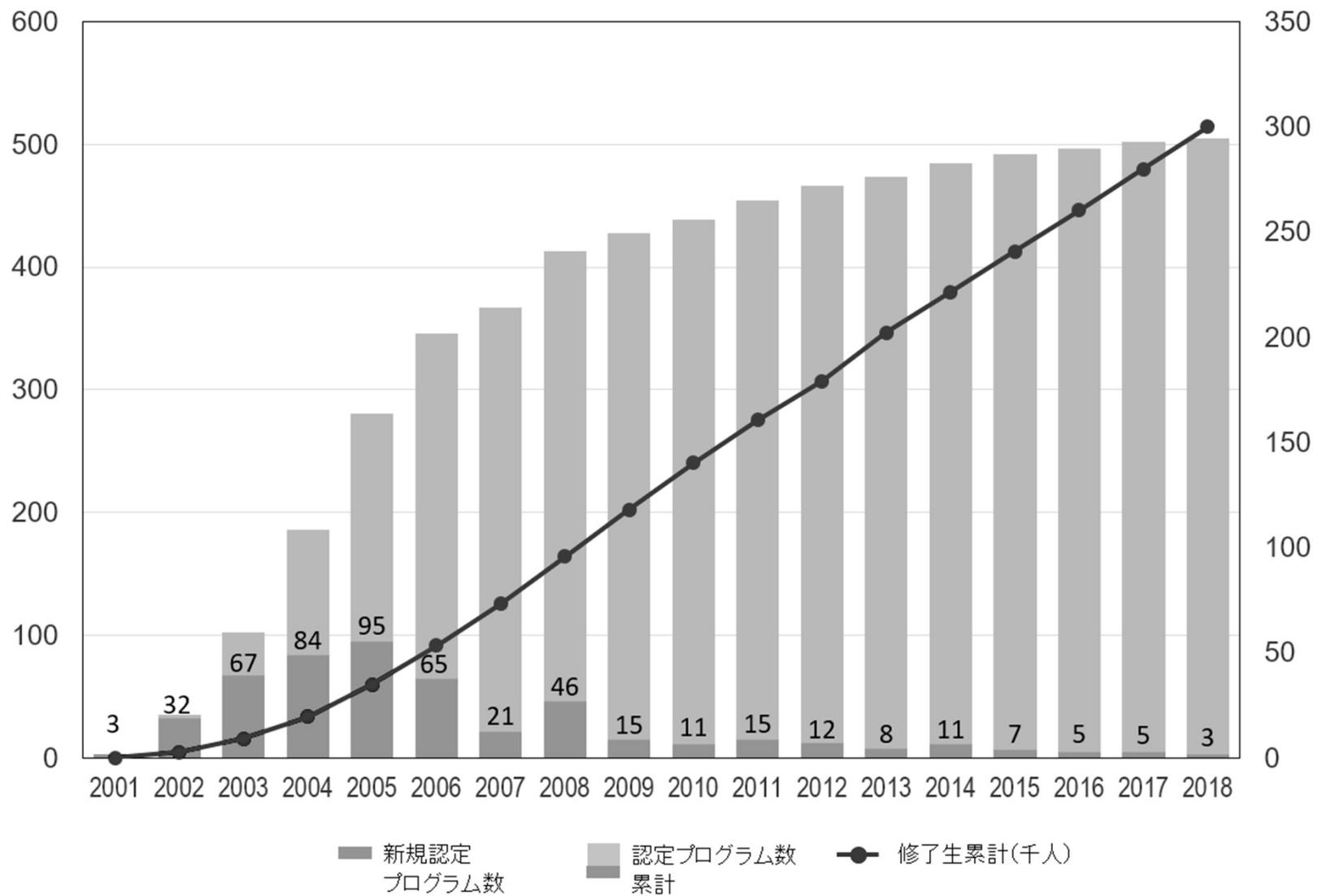
- **教育プログラムとして体系化されているか**
- **我が国の大学教育が独善的になっていないか**
- **最低限の教育内容が保証されているか**

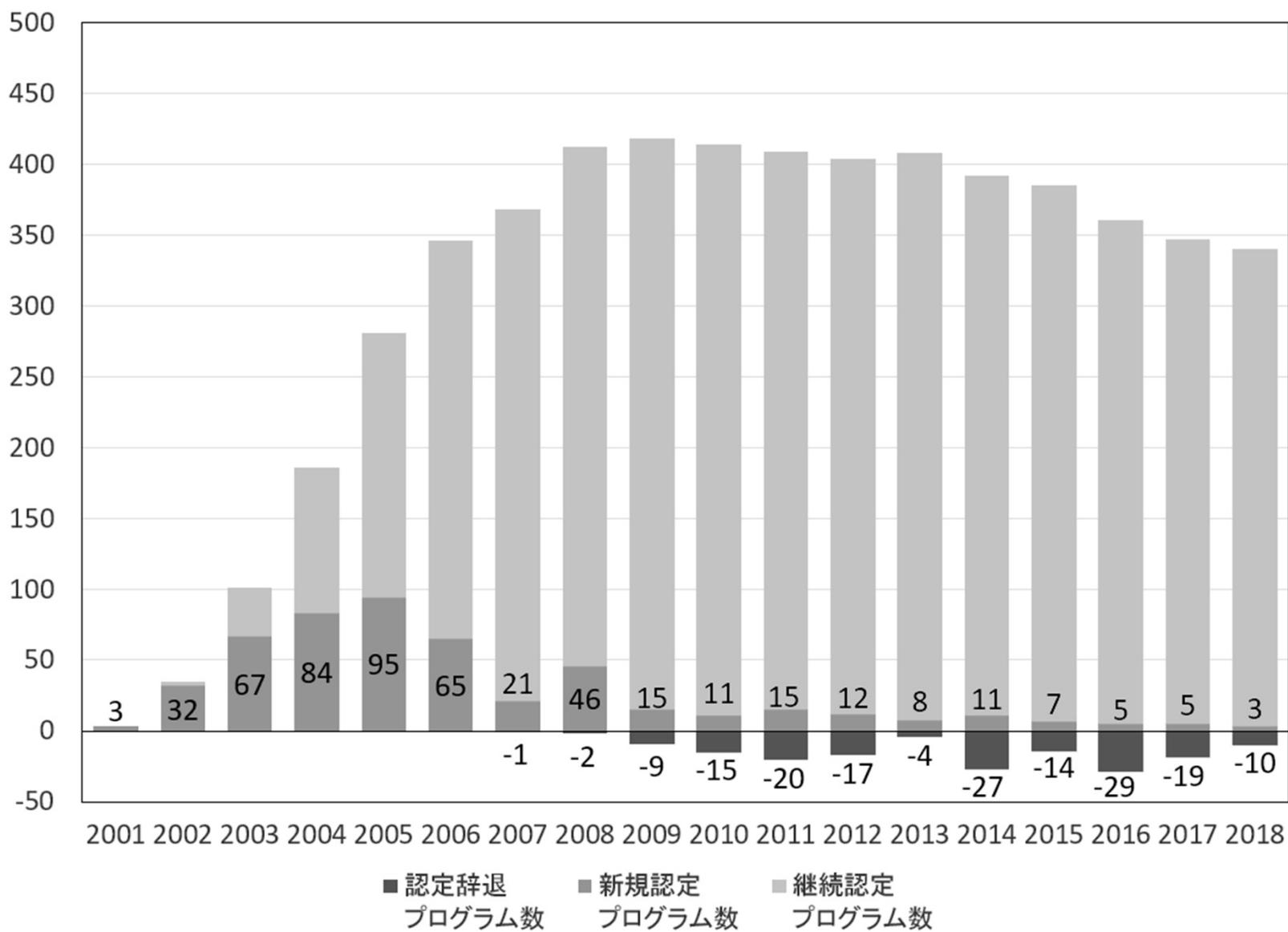
個人的要望

大学の教育を担当するものとして
全ての教育プログラムが受審してほしい

現状

認定対象となる教育プログラムは約2,000
現在認定を受けているプログラムは500





JABEE受審の利点 その1

**講義の体系化に対する客観的確認
教員が担当できる科目を準備**

→ **世界水準を確保した体系化**

講義内容の世界水準確保

教員の好きなように教える

→ **世界水準以上の講義内容**

単位付与判断の是非

教員の個別判断による単位付与

→ **単位基準の明確化**

JABEE受審の利点 その2

講義の体系化に対する客観的確認

→ **世界水準を確保した体系化**

→ **出口保証**

講義内容の世界水準確保

→ **世界水準以上の講義内容**

→ **プログラム修了生の質確保**

世界水準の確保に加えて、

各教育プログラムの個性を尊重

→ **画一化を狙う審査ではない**

**教育は常にチェックをかけて修正しながら
スパイラルアップする必要
→ マンネリ化は質の低下を招く**

常に教育を見直す必要あり

**質を確保した教育をしながら、偏りを作らず、
学生にとって印象に残る講義をする
→ 個性のある教育につながる**

**JABEEに関わることは
「ボランティア」ではありません**

JABEEに求められること

大学はなぜJABEE審査を 継続しないか？



理由：審査のための資料作りに膨大な手間がかかる

対応：他の認定・審査・評価と重複部分を取り除く

対応：審査に必要な資料を絞り込む

審査に必要最小限の資料とは何かを明確に！

理由：審査員が限度を超えた無理をいう

対応：審査員研修の強化 → 審査員の質向上

対応：審査長の権限強化

「審査員は偉いわけではない」を徹底！



大学執行部に求められること

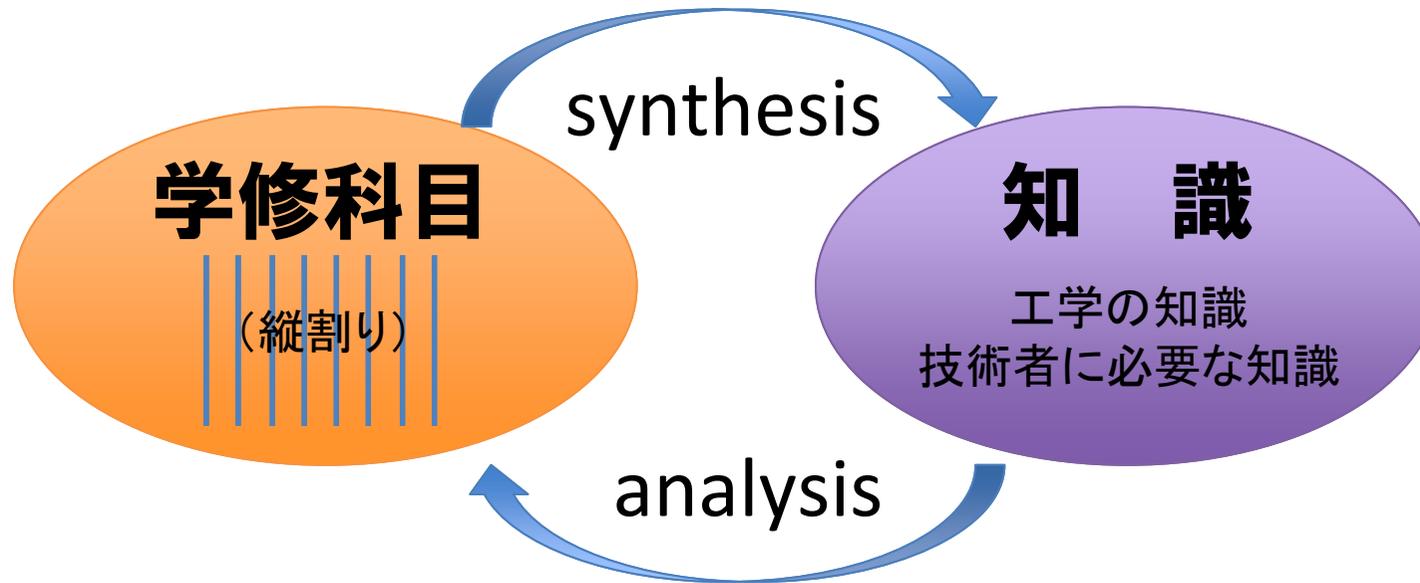
- 教育に対する評価指標の確立
- 教育に対する評価の教員業績への反映

- 教育はボランティアではない という意識の徹底
- 学生の評価による「教育の評価」でごまかさない

世界水準以上の
優れた教育システムによって
世界で活躍できる人材の創出を！



補足資料：大学教育のあるべき姿



- 知識の中身が当初は不明なので、それを分割して理解する：analysis
 - 縦割りの科目群が発生する
 - 個別の科目の中で理解し、理解度を測定する
 - 知識の形成につながらない
- 各学修科目の関連性を考慮して統合する：synthesis
 - 教える側は関連性を示しながら内容を提示する必要性
 - 同時に、教わる側は自ら関連性を意識して学ぶ必要性

設計工学、卒業研究が知識統合の場として設定してあるが、不十分。
→ 教える側の知識形成に対するさらなる意識徹底が求められる